

事業再構築補助金・公的資金・民間資金活用事例

どのような方法で公的資金を活用していくのか

新型コロナ発生後、政府は”過去最大の経済対策”を決定しています。

政府による大量の資金が市場に投入され、実は資金は溢れています。

ほとんどすべての中小企業が公的資金を活用できる絶好のチャンスが到来しています。

当然、日本経済の成長の起爆剤になる中小企業のため、金融支援や助成金、補助金などの支援策は予算がしっかりと確保され政府は助成金、補助金、公的融資など様々な資金調達手段を用意しています。

その制度の細かな内容を把握し実行するか、知らずに見逃すかでその企業の成長に今後、天地の差が開くでしょう。

それくらい重要な政府の対策があります。

ただし、これは簡単な方法ではありません。

しかし、実際に弊社のお客様でこの融資を受けた方はたくさんいらっしゃいます。

融資獲得事例

政府系金融機関

業種	アパレル卸業
直近決算年商	16000千円
流れ	7000万円の借り換えと真水融資1500万円

民間金融機関

業種	飲食業
直近決算年商	274000千円
流れ	10年返済で2000万円

補助金獲得事例

事業再構築補助金

製造業	大手企業の下請け
直近決算年商	25000千円
流れ	医療系の機器開発補助金6000万円採択

このようなことが、公的資金を活用することでたくさん起きています。
では、これらの会社はどのような行動をとったのでしょうか？
ただ、漠然と公的資金を使いたい、ということではダメです。
公的資金を活用するための大前提は「やる気」と「正しい申請方法」です。
いくら公的資金といえども、やる気のない会社には出せません。
大事なことは「やる気」です。
ただ、大切なのは、その「やる気」をどのように見せていくのか？これが案外難しいのです。
しかし気持ちだけではダメで、「やる気」を目に見えるようにしなければなりません。
また、申請も審査する側が見るポイントを理解し、「正しく申請」すれば受給率は高くなります。

経営相談が増加!!

正会員の紹介やホームページからの問合せで、
経営不振、資金繰りに困っている相談が増えています。
中には、相談が遅いために、打てる手が少なくなっているところもあります。

- ・赤字が2ヶ月続いた・・・
- ・3ヶ月先に資金が足りなくなりそう・・・

など、兆候が見えたら、早いうちにご相談下さい。
早ければ早いほど、打つ手が多くあります。

【事業計画を立案するときには】

(1) 時流に対応した変革

- ・省エネルギー：GX（グリーントランスフォーメーション）の推進
老朽化した設備を高効率の最新の設備に入れ替える
- ・省力化：DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
DXの推進で省力化を行い、生産性を向上させて、人手不足の対応も
- ・成長分野へシフト
現在の事業は、成熟期や衰退期のものが多く、成長産業への取組みを後押し

(2) 販売力の強化

- ・ビジネスモデルを見直して「売る力」を強化
- ・国内市場が飽和・縮小しているので海外展開を

(3) 事業の継続

- ・経営状況が悪い企業は思い切った改革（経営改善・事業再生・廃業）
- ・企業・事業の円滑な承継
- ・M&Aも積極的に推進